

## 第35回福岡地域審議会会議録

と き：平成29年12月25日(月)午前10時00分

ところ：福岡庁舎3階 大会議室

出席者

○高岡市

高橋市長、村田副市長、水上総務部長、長久財政課長、新田人事課経営管理室長、久郷都市計画課長、田口都市計画課計画係長、川尻福岡総合行政センター所長、大窪福岡総合行政センター次長・地域振興課長、堂田産業建設課長、窪田産業建設課副課長、岩崎市民生活課長、池田福岡まちづくり推進室長、長澤福岡教育行政センター所長

○委員（50音順）

石王 誠委員、大橋仁美委員、神庭あゆみ委員、竹島寿美委員、谷口義明委員、中田正敏委員、畑 幸恵委員、林 隆三委員、宮崎三郎委員、宮崎真紀子委員、村上委千子委員、山岸俊清委員、山崎 博委員、米田裕子委員

○ 欠席者

張田 真委員

1 開 会 午前10時00分

【事務局】

本日は、お忙しいところご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、第35回福岡地域審議会を開催いたします。

2 会長挨拶

【事務局】

開催にあたり山崎会長からごあいさつをお願いします。

【会長】

本日は、第35回の福岡地域審議会を開催するにあたりまして、高岡市の高橋市長様、副市長の村田様、そのほか関係部課長の皆様には、大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。昨年私たちは3月に第6期の福岡地域審議会の委員として委嘱を

受けまして、その後担当の皆様と一緒に高岡市と福岡町が合併したときの約束である、新市建設計画に基づく福岡地域の主要事業 58 項目と、その後追加された 4 項目につきまして、その事業の進捗状況を検証しまして、今日まで勉強させていただきました。先日の勉強会におきましては、平成 29 年度の事業の進捗状況についてお話をいただいたところであります。合併特例債による各種大型事業につきましては、旧高岡地区におきましては、新幹線開業に伴う新高岡駅周辺の整備やあいの風とやま鉄道高岡駅の駅前周辺の整備、また立野地区に新設されましたボールパークがありました。福岡地域におきましては、福岡小学校の耐震化による改修工事でありますとか、さくら球場の建設によります周辺地区の文教ゾーン整備、消防署の新設や五位地区の大型農場の圃場整備などが行われてまいりました。合併特例債による大型事業は、ほぼ予定どおり終了しておりますが、福岡駅前の区画整理につきましては期間が延長になりましてたゞいま進行中でございます。未達成の事業につきましては期間内に終了できますよう行政の皆様のご協力をお願いします。また、この間それぞれの事業の達成にご尽力いただきました行政の皆様にあらめて御礼申し上げます。

私たちの任期は、昨年の 3 月から来年の 2 月までの 2 年間となっております、審議会の開催は今回が最終となります。これまで行政から福岡地域の予算の内容等について勉強させていただきました、昨年 11 月には意見書を提出させていただきました。私たちの意見が少しでも行政に活かされ、進められていけば大変うれしいことです。

本日の審議会については、いずれも重要な事柄ばかりでございます。全市にわたる課題ですので、委員の皆様におかれましては、福岡地域の課題と合わせて高岡の一市民として大きな目で高岡市としてどうあるべきかという提言をお願いしたいと思っております。行政におかれましても、高岡市民の一提言であるにとらえていただきこれからの政策に活かしていただければ、この審議会も有意義なものとなると思いますので委員の皆様には積極的な発言をお願いして開会のあいさつとさせていただきます。

### 3 市長あいさつ

#### 【事務局】

ありがとうございました。続きまして高橋市長からごあいさつを申し上げます。

#### 【高橋市長】

第 35 回の地域審議会を開催するにあたり、一言ごあいさつ申し上げたいと思います。山崎審議会会長をはじめ審議委員の皆様方には、日頃から福岡地域のみならず市政全

般にわたりまして、ご理解、ご協力、ご助言をいただきましてありがとうございます。  
本日は石澤名誉市民にもご臨席頂いております大変恐縮しております。

これまで皆様には市政全般にわたりまして、ご尽力いただいておりますことをこの場を借りてお礼申し上げます。先ほど山崎会長のあいさつにも一市民というお話もありましたが、合併以来、様々な事業展開、交流を深める中で新しい高岡市民としての機運が醸成されていることに大変心強く思います。

12月議会でも取り上げておりますが、高岡市としての財政状況が大変厳しくなっており、5年間の緊急プログラムを策定すべく尽力しております。福岡地域や市内の各地域におきまして年明けに説明の場を設けながら、市民の皆様にご理解、ご協力をいただきこの難局を乗り越えていきたいと思っております。将来の高岡のために、未来を担う子供たちのために財政の健全化に取り組んで参りたいと思っております。

福岡地域におきましては、今年につくりもんまつりの内閣総理大臣賞の受賞もございましたし、11月30日には「越中福岡の菅笠」が国の伝統的工芸品に指定されました。今回の指定は高岡銅器、高岡漆器に続いての40年以上ぶりの指定となり大変うれしく思っております。昨年は「越中福岡の菅笠製作技術」、「菅笠問屋の町並み」が日本遺産の構成文化財に追加認定されたところでございます。福岡町の様々な歴史の積み重ね、それを支えてきた地域産業が高岡全体の大きな力になることをご期待申し上げたいと思っております。これらの文化財を継承していくとともに、産業振興の取り組みにもご支援申し上げたいと思っております。引き続き、皆様と共に頑張ってもらいたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

山崎会長をはじめ、第6期の委員の皆様には、「新市建設計画の福岡町地域主要事業に関する意見書」の提出をはじめ、2年間にわたり数多くの案件に真摯にご審議いただきましたことに深く御礼申し上げます。今後、第7期の皆様には、合併後15年という節目を迎えるということもありまして、福岡庁舎のあり方など大きな課題についてご審議をお願いしたいと思います。6月の地域審議会でご説明した、福岡町地域で現在継続しているインフラ整備の状況や、高岡市公共施設再編計画、財政緊急プログラムなどについてご説明いたしますので、委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いいたしまして冒頭のご挨拶とさせていただきます。

#### 4 議事

##### 【事務局】

ありがとうございました。それでは本日市からの出席者のご紹介をさせていただきます

す。

(市出席者紹介)

議事に入る前に、本日の審議会の欠席の連絡を張田委員からいただいております。本日の会議は15名の委員うち14名の方々に出席いただいております。地域審議会の設置の規定によりまして、出席委員は過半数を超えていますので本日の会議は成立していることをご報告いたします。

規定によりまして、議長は会長が務めることとなっておりますので、山崎会長よろしくをお願いします。

(1) 報告事項

それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。審議が円滑に進みますよう委員の皆様のご協力をお願いします。今回の会議は、①報告事項2件、②その他3件となっております。

【山崎議長】

まず、「報告第99号 平成29年度福岡町地域インフラ整備事業の状況について」説明をお願いします。

【大窪地域振興課長】

それでは、「報告第99号 平成29年度福岡町地域インフラ整備事業の状況について」、お手元の資料に従いまして説明をいたします。お手元の資料をご覧ください。

(地域振興課長より説明)

【山崎議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【村上委員】

福岡中学校の前と旧道が交差する荒屋敷の交差点が中学生の通学路となっており、ドライバーから危ないという声を聞くのですが改修の予定はないのでしょうか。

【大窪地域振興課長】

県道なのでこちらから要望等しているところかと思いますが、一度確認したうえで説明させていただきたいと思います。荒屋敷交差点については公営バスも通る関係もあり、高岡警察署と協議して停止線を少し後ろに下げたりということもしておりますが、用水の関係もあり道幅については県と相談するということをお願いします。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はありませんか。

ないようであれば、少し発言させてください。

林道元取山線の工事が進んでいるようですが、元取山からの眺めは高岡市としても誇るべき場所であると思っております。加茂の方から登っていく道は地元の皆さんが整備され、きれいになっているのですが、鳥倉の方につながっている下りの道路は急坂になっているので、地元の皆さんと協議して道路の整備を考えていただければありがたいと思います。行政の皆さんにも元取山に登っていただいて福岡町にもこんな素敵なおところがあるんだということをPRしていただければと思います。

【中田委員】

下葦四十万線の改修工事が施工されていますが、少し工期の延長等もあると聞いています。道幅も狭く通学の児童等も通行していることから、速やかな実施をお願いします。

福岡地区での文教地区の宅地化が進んでおり、農業用排水路として使用していた水路や農道が虫食いの開発により手入れが行き届かない状況になっています。ゲリラ豪雨等の心配もありますので、どの部署が用排水路の整備、維持管理を所管していただけるのか整理していただいて、何かが起きる前に調整等をしていただければと思います。

黒石川の河川改修についてですが、先般の台風による大雨で、工業団地周辺や中学校周辺で水位が上昇し、農地に逆流している状況でした。市の方もパトロールしているとお伺いしていますが、黒石川につきましては周辺の農地整備等も含めて関係の方々の意見集約や調整等を進めていかなければならないのではないかと危惧しております。小矢部市の岡地区でも整備が進んでおり、下流側でも整備が必要だと思っておりますのでよろしくをお願いします。

【大窪地域振興課長】

担当課の方に伝えさせていただきます。

黒石川については、県の方でも7月に荒屋敷集会所において地元の皆様と勉強会を開催したと聞いております。今後ともお話をさせていただき調整させていただきたいと思っております。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。他にどなたかご意見はございませんでしょうか。特になければ「報告第100号 福岡駅前土地区画整理事業について」報告をお願いいたします。

【池田福岡まちづくり推進室長】

資料をご覧ください。「報告第100号 福岡駅前土地区画整理事業について」説明します。

(福岡まちづくり推進室長より資料に基づき説明)

【山崎議長】

ありがとうございました。ただいま報告のありました件について何かご質問はありますか。

【林委員】

市の財政で40億円の財源不足が予想される中で、工期が平成19年度から平成32年度までとなっておりますが、工期内に工事が完了できるのでしょうか。

蓑川プロムナードの工事が続けられほぼ完成していますが、西干場左岸の下流で少し残っているところがあるのですが、工事は終了したのか最後まで続けていただけなのか教えてください。

国道8号の拡幅工事も併せて進められていますが、横断歩道だけで信号機のない場所があり、11月に高齢者の方が交通事故で無くなりました。平成27年にもその近辺で交通死亡事故が発生しております。歩行者用の信号機の設置を要望しておりますが、なかなか設置されない状況です。国道8号の拡幅工事に合わせて、ショッピングセンターの正面に歩行者用の信号機付きの横断歩道の設置についての要望書を提出する予定です。行政の方にも力を貸していただき1日も早く信号機付きの横断歩道を設置したいと思っております。よろしくお願いいたします。

【池田福岡まちづくり推進室長】

1 点目の事業期間につきましては、事業計画で施工期間を平成 19 年度～平成 32 年度としておりますが、住宅が密集しているエリアの土地区画整理事業であり、玉突き移転を多く伴うことから、そこにお住いの地権者の方々にとっては、正に生活に直接影響することもあり、その補償交渉等にあたっては、予想以上に時間を要しているというのが実情であります。

当然、予算的な問題もありますが、物理的に完工が可能であるかも含め、今後の進捗状況を見極めながら事業計画変更も視野に入れ、対応していきたいと考えております。

2 点目の蓑川プロムナードの整備については、限られた予算の中で、緊急性及び重要性を踏まえ、検討していきたいと考えております。

横断歩道についてですが、まず、今般の事故によりお亡くなりになられた方及びそのご家族の方々に対して心よりご冥福を申し上げます。国道 8 号下蓑地内の横断歩道については、最終的に国道 8 号整備主体である国土交通省と県警の協議が必要であり、本市としましては、地元が要望書を提出されることを充分組み取り、横断歩道移設の実現に向けて支援してまいりたいと思います。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。他にどなたかご意見はございませんでしょうか。

特になければ、その他の案件に進みたいと思います。「都市計画マスタープラン全体構想（素案）について」説明をお願いします。

【久郷都市計画課長】

資料をご覧ください。「市計画マスタープラン全体構想（素案）について」説明します。

（都市計課長より資料に基づき説明）

【山崎議長】

ありがとうございました。ただいま説明のありました件について何かご質問はありますか。

【神庭委員】

五位山に住んでいるのですが、「都市計画マスタープラン全体構想（素案）」には、市全体を見渡した全体構想についての素案とありますが、山村地域には山村振興計画があ

ると聞きました。町はマスタープラン、山は山村振興計画ではなく、両輪となって全体として方向性を示したものを示していただきたいと思います。市の借金がたくさんある中で、片方の計画でアクセルを踏み、片方の計画ブレーキをかけることがないようによろしくをお願いします。

【久郷都市計画課長】

我々の計画を作る際に都市計画区域だけに焦点を当ててはいけないということで、自然、農業のところにも踏み込んで書いております。具体的にどうするかについては、それぞれの計画、法律があります。この計画づくりについては、都市計画を行っている我々だけではなく、山村振興計画を所管している部署なども含めて話をさせていただいていくところです。山村振興計画には、守るべき産業として、農業や林業、コミュニティや歴史文化など地域振興策についても書いてありますので、照会しながら計画を作り上げていきたいと思っております。

【村上委員】

コンパクトアンドネットワークを目指していくということは、JRやあいの風とやま鉄道の駅など町まちの中心に農村部等の人を集めて、効率の良いまちを創り出すという風にとらえました。そこで質問があります。

農村部に空き家や放棄地が出てくる危惧があると思っております。空き家や放棄地が増えることで里山のような状態になって、イノシシやクマが出るようになるのではないかとというのが1点。

税制優遇や補助金などで町部に誘導するとすれば、引っ越しできる方はいいのですが、取り残された方は行政サービスが受けられるのでしょうか。

先祖の土地であるということで、住民の理解を得ることが難しい案であると思っておりますが、先ほど神庭委員も話されたように都市計画だけでなく農地や里山の計画とも照らし合わせて総合的な計画を住民に対して示していただきたいと思います。

お願いになりますが、福岡駅を中心にまちを作るということであれば、駅にエレベーターもない状態なので高齢の方も使いやすい駅にさせていただくことを希望します。

【久郷都市計画課長】

まず、農村部に空き地、空き家が増えるということは非常に危惧しております。人口が減少しているので空き地、空き家が増えるということは、町中でも農村部にでも起こ



っていることです。一方では便利なところに集めたいという思いもありますが、規制をするものでないので、個人個人の意思にお任せしているところがあります。空き家については、全市的な空き家対策を実施していきたいと思います。町の中に来ることによって郊外部に空き家が増えるのでないかということは国土交通省でも危惧しており、国レベルで対策を考えているということです。

誘導区域外についても、道路の補修や上下水道の鉛管更新も実施しておりますが、人が住んでいる限り、行政としてはサービスをしていかなければなりません。誘導区域に人を集めて効率化を目指すものではありませんが、それ以外の方をないがしろにするものではありません。

土地や家を持っているといことは、そこに住まなければいけないということもあり、高齢者や子ども達が生活できる空間を作ろうというものであり、各自で選んでいただく生活スタイルに制限や規制をするものではないということをご理解いただきたいと思います。

福岡駅のエレベーターの設置については、市民説明会を開催した際にもご意見をいただきました。エレベーターの設置には3,000人の利用者が必要であるとのことですが、高齢者の方が多いなどの地域事情を要望にのせてはどうかと学識経験者の先生からお話がありました。数字の理論ではなく、地域の特性個性を訴えていけばどうかという意見があり、この点については、交通の部局にも伝えてあります。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。他にどなたかご意見はございませんでしょうか。

【畑委員】

高齢者が2人で住んでいると病院へ行ったりすることも困難だと思いますが、民間とタイアップしてデマンドタクシーなど便利な交通の体制づくりが必要になってくると思います。

【久郷都市計画課長】

インフラを維持していくのは当然必要になってきますが、生活の足が問題になってきます。コンパクトアンドネットワークは集約型のまちを目指すということと、ネットワークでどうつなぐかということが両輪であると思います。都市計画だけで考えるのでは

なく、市内の 30 課が集まって議論をしています。どうやって生活の足を確保するかということについても考えていきたいと思います。

【大窪地域振興課長】

福岡地域では公営バスの運行を維持しています。利便性の向上など、地域の特性に応じた公共サービスの充実に努めてまいりたいと思います。

【山崎議長】

私の方から一言だけお願いします。あいの風とやま鉄道の新しいダイヤでは高岡から金沢まで一往復増便になるということですが、これは以前から要望していたことが、1 つだけでも実現したということで喜んでおります。福岡駅のエレベーターの設置については簡単に設置できるとは思っていませんが、実現に向けて行政の協力もお願いしたいと思います。他にどなたかご意見はございませんでしょうか。

【石王委員】

私自身農業を生業としていますが、中山間地の生活と農業は必ずしも同じではないと思います。知的労働者や収入の高い方の生活環境を提供するというサービスもあっていいと思いますし、そういう方を誘致するために、周辺のインフラなどの環境を整備し、それに合わせて農業生産なども発展性のある事業体にするなどすればよいと思います。地域の方で全てを行うという考えではなく、全体の中で環境整備を行っていけばいいと思います。将来の計画なので、みんなが夢を持ち、希望のある環境を構築していくような議論をしていただければと思います。

【久郷都市計画課長】

これから高岡市の将来を担っていく子供たちが夢を持てる計画にしたいと思います。将来のまちを考えるにあたって、現実を見据えるということも必要になるので、導入部分は厳しい話をさせていただきました。人口については、国が推計した 20 年後の人口は 13 万 6 千人ですが、総合計画では 15 万人としており、移住定住を促進するという期待値が含まれています。都市問題は複雑で多様化しておりますので、いろいろな部局と相談しながら作っていききたいと思います。

【山崎議長】

これは人口減の話が主体になっていますが、人口を増やそうという案はあるのでしょうか。

【久郷都市計画課長】

都市経営課の方で移住定住促進の計画を練っております。インバウンドを含めてどうやって人を呼び込むかという計画を並行して進めております。

【山崎議長】

そちらの方もぜひ検討していただきたいと思います。

他にどなたかご意見はございませんでしょうか。

【大橋委員】

あいの風とやま鉄道の周りを居住区とするような案となっておりますが、駅の整備や電車の本数を増やすなどをしないとこのような状況にならないと思います。空き家対策で空き家に誘致するという話も事前勉強会でありましたが、話し合いで物別れに終わり、なかなか入っていただけない状況が多々あると聞いています。空き家の周辺を買い取って整地して宅地にして誘致するなどしないと、移っていただけないのではないかと思います。

【久郷都市計画課長】

20年後という遠い将来の計画ですが、自分の人生設計で20年後を想像することはあっても、まちの将来を想像することはないと思います。なぜ20年を設定しているかということ、住宅の住み替えスパンが30年で、ドラスティックに変えていくことができないため、地道な道のりが必要な中で、途中年次で施策がうまくいっているかチェックしていき、うまくいっていない場合は、どういうテコ入れをしていくのは必要なのかと思います。

鉄道の利便性が先なのか周りに人が集まるのが先なのかという点については、議論はあると思いますが、鉄道事業は民間で営利を求めますので、乗る人を増やして鉄道業者としては利便性を向上し、お互いにまちづくりをしていくということが必要だと思います。

空き家対策については、ご意見として伺いまして空き家対策の部署に伝えます。

【山崎議長】

ありがとうございました。時間の関係もありますので、次に進めたいと思います。  
続きまして、「高岡市公共施設再編計画（素案）について」説明をお願いします。

【新田経営管理室長】

資料をご覧ください。「高岡市公共施設再編計画（素案）について」説明します。  
（経営管理室長より資料に基づき説明）

【山崎議長】

ありがとうございました。ただいま説明のありました件について何かご質問はありませんか。

【山岸委員】

福岡地域の中で集会所と木楽館が譲与となっていますが、これによって地元の負担は増えるのでしょうか。

【新田経営管理室長】

譲与にあたってどこまで修繕してお渡しするかなどのお話については、所管課が中心になって、今後詰めていく話だと思います。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見のある方はいませんか。

【林委員】

集会所の譲与に関連してですが、所帯数の多い自治会もあれば、少ない自治会もあります。譲与後のメンテナンスに多額の費用がかかると思います。現在は3割程度の補助がありますが、譲与された時点で全て自治会の負担とするのではなく、譲与された後も少し補助を検討していただきたいと思います。

また譲与に当たっての事務的な処理もあると思いますが、それについても教えていただきたいと思います。

【大窪地域振興課長】

集会所の譲与に伴う修繕に必要な費用については、上限を設けて費用の一部を補助できないか検討しております。福岡町地域で市民説明会の後に集会所の指定管理をお願いしている自治会を対象に説明会を予定しております。その際に資料等を添えて説明したいと思います。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【宮崎眞委員】

トレーニングセンターの長期廃止についてですが、地元の赤丸のトレーニングセンターは、文化祭や運動会など赤丸全体の憩いの場としても使用しています。災害時には赤丸地区の高齢者が歩いていける避難場所になっています。アルテン赤丸もあり、台風の際には花尾の人たちの避難場所にもなりました。赤丸には代わりになる避難場所がありません。将来的には人数も少なくなるかもしれませんが、代わりになる避難場所や計画はあるのでしょうか。

【新田経営管理室長】

避難場所を管理している危機管理室とも話をしております。地域防災計画について、見直しが必要なところは見直していかなければならないと思っています。皆様の安全安心を無くすようなことはないようにしたいと思っています。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【中田委員】

土地改良区は、高岡市土地改良区と福岡町土地改良区が将来の合併に向けて、これから協議を進めていく時期に来ています。合併後の事務所として福岡庁舎の借用についてご配慮をお願いしたいと思います。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【竹島委員】

大滝のトレーニングセンターは平成47年までに廃止になっていますが、耐震性、耐久性に問題がないようであれば、このまま使わせていただければと思います。

体育館の利用者について確認しましたが、毎日何らかの団体が利用している状況なので、レクリエーションやスポーツができる場として残していただきたいと思います。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【畑委員】

ロッジ山ぼうしは譲渡という方向で進んでいますが、高岡、氷見、小矢部、県外からもお客さんがいらっしゃっているようです。高岡には宿泊施設がないので、せっかくまちなかへ出たとしても素通りしていく状況です。1泊、2泊していただいて高岡や福岡のまちなかにお客さんが来る状況を作っていただきたいと思います。

公共の施設は利益を求めてはいけないということで、存続は難しいと思いますが、リゾート地としていろいろなところに働きかけをしていただいて、民間の力を借りていただきたいと思います。自信をもって、売却、譲渡していただき、高岡の観光資源として使っていくという方向で進めていただきたいと思います。

他からいらした方には高岡は魅力的なまちであると思います。商業も厳しくなっており、文化遺産もたくさんあるので自信をもって観光などを進めていただきたいと思います。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【村上委員】

集会所を譲与された場合、固定資産税等はいかかってくるのでしょうか。集会所の修繕費がかかってくると思いますが、例えば営利目的のイベントに集会所を貸し出して修繕費を捻出することを前向きに考えてもよいのでしょうか。

【大窪地域振興課長】

集会所の譲与に当たっては、認可地縁団体を結成していただければ固定資産税は減免となります。修繕については軽微な修繕については自治会で行っていただいておりますが、大きな修繕については上限を設けて補助を行うなど、今後の予算の状況を見て検討していきたいと思います。

【村上委員】

イベントで修繕費を捻出できないということでしょうか。

【大窪地域振興課長】

譲与した後であれば可能です。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【竹島委員】

島田邸が短期で廃止となっておりますが、観光ボランティアとしてまちなかを案内したときに島田邸周辺でお褒めの言葉をいただくことが多いので、何とか残していただきたいと思います。草むしりなどに費用がかかるのであれば、全て行政に任せるのではなく、各種団体に呼び掛けて、みんなで保存継承できる方法を考えていければいいと個人的には思います。広い空き地ができる、まちなかを案内しても福岡のまちはおかしいと言われる気もするので存続に向けて考えていただきたいと思います。

【長澤教育行政センター所長】

大滝トレーニングセンターは、旧福岡町時代に建設した地域の背景があり、そのほとんどが公民館と併設されていることから、地域の方の意見を聞きながら、公民館再編計画を策定する中であり方について検討していきたいと思います。

島田邸についても短期で廃止となっておりますが、残せるような手立てがないか検討していきたいと思います。

【水上総務部長】

廃止になっている施設については、必ずしも壊すという意味ではありません。使っただけの方がいるのであれば、市は無償で譲与したいと思っています。そういうことも含めてご検討していただければと思います。残していただきたいという思いは十分斟酌しますが、冒頭に申し上げた通り、これから人口が減っていく中で市の手持ちの施設を少なくしていきたいという思いもございます。その点もご理解いただきながら、残すべきものは残す、市の持ち物でなくすものはなくすという形で進めさせていただきたいと思います。すぐに壊すということではなく、先ほど担当課長が申しましたように、5年間で議論をしていきたいと思っています。

【村上委員】

議論した上で欲しいという方がいれば、無償で譲渡ということでしたが、その場合、ある程度修繕してからいただけるのでしょうか。

【水上総務部長】

集会所の話と重なりますが、一定のルールは作る必要はあると思います。地元の方にボロボロの状態でお渡しする訳にはいかないとします。

旧高岡市でも、地元の方に譲与する際には、一定のルールの中で修繕をしてお渡ししたという事例もございます。ルールにつきましては、公共施設再編計画ができた後に、関係課が集まり、一定のルールを作る必要があると思います。

【川尻福岡総合行政センター長】

家族旅行村については、これまで第3セクターで運営してきましたが、今回の計画で「短期譲渡」ということで民間の活力に期待するということを考えております。民間に譲渡することで、公的機関ではできない新たなサービス展開や多くの人々にプロの営業活動が期待できるということで、民間投資を促し民間でできることは民間でということをご理解をいただきたいと思っています。

土地改良区の合併の話も出ておりましたが、候補に福岡庁舎がということであれば、ご相談いただきたいと思っています。

まちなかの空き家の話も出ていましたが、ウエルカム福岡の仲介で都会で起業していた若い社長さんがこの町はとてもすてきですねと言っていました。私たちは何も無いと思いがちですが、いろいろなところに情報発信することで、若い方は新た



な感覚を持っていることが分かりましたので、その方とも協力しながら新しいまちづくりが展開できないか期待しております。

【山崎議長】

非常に身近な問題ですので、まだまだご意見があるかと思いますが、時間の関係もございますので、次に進みたいと思います。

続きまして、「高岡市財政健全化緊急プログラム（概要）について」説明をお願いします。

【長久財政課長】

資料をご覧ください。「高岡市財政健全化緊急プログラム（概要）について」説明します。

（財政課長より資料に基づき説明）

【山崎議長】

ありがとうございました。ただいま説明のありました件について何かご質問はありませんか。特にないようであれば、この件については以上としたいと思います。

本日は石澤名誉市民にお越しいただいておりますので一言お願いしたいと思います。

【石澤名誉市民】

第6期の審議委員の皆様におかれましては、2年間熱心に審議いただき、地域発展のためにご尽力いただき敬意と感謝を申し上げます。地域審議会は合併の交渉の際に10年を目途に開設いただき、場合によっては15年まで延長していただけるよう要望をしておりましたが、15年間は継続していただけるものと思っています。本日のような熱心な審議を高く評価されたものと感じており、歴代の委員の皆様には重ねて敬意を表したいと思います。

新聞紙上や議会答弁でも高岡市の厳しい財政状況が取り上げられ、高橋市長が不退職の決意で財政再建に取り組む決意を示されていますので皆さんご承知かと思いますが、町を歩いていると高岡市の財政を心配する声が聞かれます。我々も、市長や市議会の身を削る努力を理解して、我慢するところは我慢して財政再建に協力したいと思っています。そのためには、徹底した住民への説明会を開催していただきたいと思っています。市民の中には、福岡との合併も財政悪化の要因の1つではないかという人がいますが、できるだけ高岡市に迷惑をかけないように、190億の合併特例債の半分を頂戴し、その中で対応していただいているはずです。福岡で建設予定だったボールパ

ークを立野に建設した際に、合併特例債 20 億を返上しているそのような意見は筋が通らない意見ではないかと思っております。

合併前は駅前を中心とした都市計画が遅れており、合併の際の最大の要望は、駅前再開発であったと思っております。いろいろな状況がありなかなか進まず、当初平成 30 年の完成目標が平成 32 年になりましたが、現在の進捗度を考えると平成 32 年の完成も難しいのではないかと考えているのですが、福岡の将来を決める大事な事業なので住民は 1 日も早い完成を夢見ております。駅前の整備が完成した後に商業施設を導入しなければならないという目標を持っており、完成が遅れば遅れるほど、これが厳しくなると思っております。合併特例債も底をつき、今後は一般財源を投入して福岡駅前の整備を行っていく必要があります、市の財政への影響を考えると平成 32 年の完成は難しいと思いますが、財政の状況と合併の約束の履行は別問題であるので、この事業が停滞することがないようにお願いします。

高岡市の財政状況が厳しい中で、我慢できることは我慢していきますが、要望の強い生活道路の整備などについては配慮をお願いしたいと思っております。

福岡駅へのエレベーターの設置は合併前からの要望でしたが、高岡市からの重点要望事項として挙がっていないと聞いています。建設の際には、高岡市にも相応の負担が発生することと福岡駅の 1 日の乗降客数が 3,000 人に満たないという状況が、エレベーターの設置を困難にしているものと考えます。今後人口が減少していく時代においては、未来永劫福岡駅にエレベーターが設置されないこととなります。厳しいハードルの緩和を実現するためには、長い運動が必要になると思っております。高岡市の重点要望事項として挙げていただき、我々もこれを支えていくということが必要だと思っております。

高岡市の厳しい状況にみんなで協力して、1 日も早い財政再建をしていただきたいと思います。

【山崎議長】

ありがとうございました。事務局から連絡事項はありますか。

【大窪地域振興課長】

冒頭の高橋市長のあいさつにもありましたが、越中福岡の菅笠が国の伝統的工芸品に指定されました。資料配布してありますのでご一読ください。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。本日の第35回福岡地域審議会の議案はすべて終了しました。閉会に当たり一言お話しさせていただきたいと思います。

高橋市長におかれましては、任期中厳しい財政事情の中で高岡市をリードしていただくこととなりますが、それぞれの場面においては市民に懇切丁寧な情報を開示していただき、議会とともに市民も納得する方向にリードしていただきたいと思います。

それぞれの事業については、我田引水になりやすい事業ばかりですが、中立て厳正にさばいていただき、若い人たちが高岡市に住みたいという都市になるようにご尽力をいただきたいと思います。

委員の皆様には、長時間にわたり審議いただくとともに、議事進行にご協力いただきありがとうございました。行政の皆様も長時間にわたりありがとうございました。最後に高岡市市長から一言いただき閉会としたいと思います。

【高橋市長】

委員の皆様には、大変熱心なご審議をいただきありがとうございました。石澤名誉市民から激励と叱責をいただきました。今日いただきましたご意見については、重々理解できるものでございましたが、一方で財政問題や人口が減少していくという日本全体が抱える大きな課題がございます。そのために、様々な公共施設を今後どうしていくかについて真剣なご意見をいただきましたが、みんなで考えて、ご理解していただきながら先に進めたいと思います。

一方で、「未来高岡総合戦略」を作成しております。人口流入流出を均衡させようという目標を立てておりました。今そのような状態を達成しておりますが、安心はできませんが、高岡を選ばれるまちしにしていくためにも、子供達への投資、学校再編など少しでも早く全市的な全体像をお見せしたいと思います。未来への投資を果たすためにも、足元の財政しっかりとしたものにして、持続可能な財政構造を創っていくためにも不退転の決意で取り組んでまいります。皆さんからもお話がありましたが、高岡市には様々な地域資源が存在しております。先般、リノベーションスクール開催したところ、全国からたくさんの方にお集まりいただき、空き家や人がいなくなったようなエリを見ていただきたくさんの方の提案をいただきました。すべての空き家が埋まるということではありませんが、可能性があるということでございます。

大変厳しい状況ではございますが、創意工夫を凝らしながら難局を乗り切っていき  
たいと思いますので、審議会の皆様にもご理解ご協力をお願い申し上げて閉会のあい  
さつとしたいと思います。

【山崎議長】

それでは、以上を持ちまして第35回福岡地域審議会を終了したいと思います。委  
員の皆様には長時間ご審議いただきありがとうございました。